



Adobe Systems Incorporated

(アドビ システムズ社)

ADOBE SYSTEMS INCORPORATED (アドビ システムズ社)

本社所在地
米国カリフォルニア州サンノゼ
www.adobe.com

設立

1982

株式銘柄記号

ADBE (Nasdaq)

アドビ システムズ社 2009 年度の売上

29 億 4,600 万米ドル (2009 年 11 月 27 日終了)

クリエイティブの未来を拓き、人と情報の関係を革新するというビジョンのもと、アドビ システムズは過去 25 年以上にわたる技術革新の中で、コミュニケーションとコラボレーションのための業界標準を築き上げてきました。数々の受賞歴に輝くソフトウェアや技術は、メディアの枠を超え、人々の暮らしの様々な場面に、なくてはならない魅力的な体験をもたらしています。

実際、私たちの身の周りで、アドビ製品は力を発揮しています。共同作業、オンライン業務、仲間とのやり取りなど、多様な場面において、アドビのソフトウェアやテクノロジーによってデジタルインタラクションがより豊かで価値の高い体験へと変えられ、プラットフォームやデバイス、場所や時間を選ばず人々に提供されています。

企業として高く評価され、また信頼性・知名度ともに最高レベルの製品ラインナップを誇るアドビは、世界有数の総合ソフトウェアメーカーです。

輝かしい革新の歴史

アドビの革新に対する強い思いは、チャールズ ゲシキとジョン ワーノックがアドビを創設した 1982 年から変わっていません。当時、この二人は、クリエイティブプロフェッショナルの悩みの種を解決し、コンピューターの画面に映し出されるテキストと画像をその通りに美しく印刷で再現することを目標に会社を設立しました。そしてわずか 1 年後には、出版業界の常識を覆す画期的な印刷技術である Adobe PostScript® を発表し、新しい DTP 時代の幕開けに貢献することとなります。

アドビの躍進が始まったのはそこからです。設立間もない時期から、アドビは時代を先取りする業界リーダーとしての役割を担い、克服できないと思われていた課題に取り組みました。そんな中でリリースした Adobe Illustrator® と Adobe Photoshop® という 2 つのアプリケーションは、画像のクオリティと複雑さを一変させ、印刷用コンテンツの作成に革新をもたらしました。そして後にこの技術は、ビデオや映画、Web などのデジタルコンテンツの制作にも活かされることとなります。こうしてデザインの世界は進化し続けました。

アドビの創設者であるチャールズ M. ゲシキとジョン E. ワーノックが、2009 年、米国政府によって科学者、エンジニア、発明家に授けられる最高の栄誉、米国技術栄誉賞 (National Medal of Technology and Innovation) を受賞

コンピューターネットワークが発達し、幅広い文書を使用したオンラインコラボレーションの必要性が高まるにつれ、コンテンツの共有という新たな問題が浮上しました。互換性のないオペレーティングシステムやプログラムがコラボレーションの妨げとなり、また、電子メールや Web の急速な普及が問題を悪化させました。この問題を解決したのが、プラットフォームやアプリケーションに依存しないファイルを開発した Adobe Portable Document Format (PDF) です。PDF の誕生は、文書の共有とコラボレーションという新たな可能性を企業にもたらしました。今日アドビは、強力なドキュメントセキュリティ、プロセス管理などの機能を提供する Web 会議ソリューションやエンタープライズソリューションによって、インタラクティブなコラボレーションの利点を拡大しています。

インターネットが経済成長の原動力へと発展すると、アドビはすぐに、静的な HTML ページではエンドユーザーのインタラクティブリティや企業が求めるエンタープライズシステムを実現できないと判断しました。そして、まず Adobe Dreamweaver® と Flash®, 後に Flex と Flash Media Server を発表し、コスト効率に優れた信頼性の高い方法で魅力的な Web サイトの開発を実現。それによって、再び大きく前進することとなります。

Omniture (An Adobe company) は、四半期あたり 1 兆を超えるトランザクションを収集する SaaS 業界のリーダー

現在アドビは、エンタープライズテクノロジーとリッチメディアの統合を通して企業の問題点を解決するソリューションを提供し、業界を次なる革新へ導こうとしています。企業各社は、Flash Player と Adobe AIR® ランタイムを中心とする Adobe Flash Platform を使用して、効率アップをもたらし、かつサービスの質とリーチを一変させることで競争力を高めるリッチインターネットアプリケーション (RIA) を構築しています。2009 年にオンラインビジネス最適化の業界リーダーである Omniture を傘下に収めたことから、アドビは今後、オンラインアセットの効果的な計測、分析、最適化を通して収益強化を図るソリューションも展開していく予定です。

顧客価値の再定義

アドビ システムズ社の年間売上の半分以上は
米国以外の国や地域における売上

アドビの顧客は、FedEx、Sony Pictures、T-Mobile、eBay、New York Times といった世界的ブランドに代表される幅広い業界にわたっています。現在、アドビの売上の半分以上は米国以外の国や地域におけるものですが、リッチなコンテンツとサービスをいつでも提供できるツールやテクノロジーをより広範な顧客に届けられれば、ますますその傾向は強まるでしょう。

業界に関係なく、アドビの顧客は、組織の内外での新しい作業環境への適応という課題を抱えています。作業環境が変わっていくことの背景には、人とソフトウェアとの関係の変化があります。テクノロジーを無機的なツールとしてとらえる考え方はもはや過去のものです。テクノロジーは今や多くの人々の暮らしに欠かせない存在となり、仕事や遊びの方法、さらには家族や友人との関わり方を変えつつあります。そして、アプリケーションのクオリティや使いやすさのさらなる向上が期待され、あらゆる画面でリッチなコンテンツを楽しめる環境が求められています。

その影響は、いたる分野で顕著に現れています。パブリッシングの世界は、コンテンツの制作方法が新しくなることで激変しました。人々が情報やサービスにかつてないほど簡単にアクセスできるようになり、従来のパブリッシングモデルは姿を消しつつあります。出版業者は、ビジネスの再生と収益源の獲得を目指して、世界中の人を楽しませる価値の高いコンテンツを配信するアドビのソリューションへと移行し、コンテンツの収益化を図っています。

クリエイティブプロフェSSIONナルもまた、印刷、デジタルメディア、スクリーンなど、コンテンツの見せ方を多様化することで、こうした変化に対応しています。アドビの総合的な製品ラインと統合テクノロジーは、魅力的なコンテンツを様々な人にすばやく届けるためのソリューションをクリエイティブプロフェSSIONナルに数多く提供しています。アドビのソリューションを利用することで、クリエイティブプロフェSSIONナルは、アイデアをカタチにすることに専念できるのです。

Flash は Web 上のビデオで一番普及している
フォーマットであり、Web 上の動画の 75% 以上は Adobe Flash テクノロジーを使用して視聴
されている¹

より表現力豊かなコンテンツとさらに双方向性を持ったサービスを求める声に応え、開発者はアドビのソリューションを利用して新しいタイプのアプリケーションを生み出しています。現在、アプリケーション設計の中心にあるのはモバイルです。開発者はモバイルデバイス上での使用を第一に考えてアプリケーションを作り、それをデスクトップやエンタープライズシステム用に作り変えます。開発者にとっても企業にとっても、このアプリケーション開発の根本的变化は、携帯電話をパソコンのように使う人の数を世界中でさらに増やしていくために不可欠です。アドビのソリューションを利用すれば、アプリケーションの企画から開発、さらには多様なデバイスに対応する高性能な RIA の提供と最適化まで、すべてをスムーズに行えます。

人々の変わりゆく期待に応えようと、様々な企業がより魅力的なアプリケーションを採用して効率化と顧客との関係強化に努めるのは、ごく当然のことです。大手金融機関、行政機関、e コマースプロバイダーなど、幅広い組織がアドビのソリューションを利用し、従業員とパートナーの連携を強化しながら、訴求力のあるパーソナライズされた製品およびサービスの効率的な利用環境を顧客に提供しています。こうして顧客とのやり取りの形を変えると、企業は、顧客のオンライン利用状況を効果的に計測・最適化しながら、使いやすい RIA を通じて安全に顧客に情報を伝達することができるため、複雑なエンタープライズシステムの投資回収を促進できるようになります。

世界中でテクノロジーが採用され変化してゆくスピードには目を見張るものがあります。アドビは、顧客が現在必要としているツールやテクノロジーはもちろん、将来の可能性に対応する次世代ソリューションも提供すべく努力しています。

企業としての高い評価

Flash テクノロジーを実行可能なデバイスは
世界中に 10 億台以上出荷済み²

アイデアや情報との関わり方に革新をもたらすことにおけるアドビの変わらぬ情熱は、世界中のコミュニティを進展させようという取り組みにも明らかに表れています。アドビは、コミュニティの人々の生活を改善するために Adobe Foundation を運営し、恵まれない青少年にクリエイティブツールを寄贈する Adobe Youth Voices (AYV) という慈善プログラムを展開しています。AYV では、これまでに 30 を超える国の何千人という青少年にソフトウェアを提供し、生活に影響を与える問題に関する重要な情報を作成・伝達できるよう研修を行ってきました。これはつまるところ、将来の国内外での社会的変革のための下地作りです。

2010年、アドビが FORTUNE 誌調査の「働きたい会社ベスト 100」に 11 回目のランクイン³

アドビの卓越性の基準は、企業活動のあらゆる面に影響を及ぼしています。アドビは、「米国で社会的影響力のある企業トップ 50」に選出され⁴、環境保護や健全な職場環境維持の促進に取り組むリーダーとして認められています。アドビ本社は、「グリーンビルディング」として数々の賞を獲得しています。2010年、アドビは、倫理的リーダーシップ、コンプライアンスへの取り組み、および企業の社会的責任に関する業績が評価され、「世界で最も倫理的な企業」の 1 社に認定されました⁵。また、北米、ヨーロッパ、アジアにおいて、働きたい会社の上位に常にランクインしていることも、大きな意義があります。

数々の受賞歴を誇るクリエイティブツール・開発ツールから、革新的なサーバーとサービスの数々、さらには普及率で他を圧倒する PDF と Adobe Flash Platform まで、アドビのソリューションを利用すれば、企業は、多種多様な双方向性のあるサービスの価値を高め、より高性能で有意義なデジタル体験をより多くの人にいつでも提供することができます。アドビは、これからも、顧客とのさらに深いきずなを求めて革新と挑戦を続けます。



アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.com/jp

Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com

1 独立系調査会社 comScore の 2009 年 1 月データより

2 Strategy Analytics の 2009 年 1 月レポートより

3 1998 年、2000 ～ 2005 年、2007 から 2010 年にランクイン。2006 年は Macromedia 社買収により対象外

4 「米国で社会的影響力のある企業のトップ 50」において第 21 位
(2008 Corporate Social Responsibility Index -Boston College Center for Corporate Citizenship and Reputation Institute)

5 Ethisphere Institute による 2010 年 3 月の評価

Adobe, the Adobe logo, AIR, Dreamweaver, Flash, Flex, Illustrator, Photoshop and PostScript are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.